

「東京ふれあいロード・プログラム」に参加してみませんか？

■「東京ふれあいロード・プログラム」とは

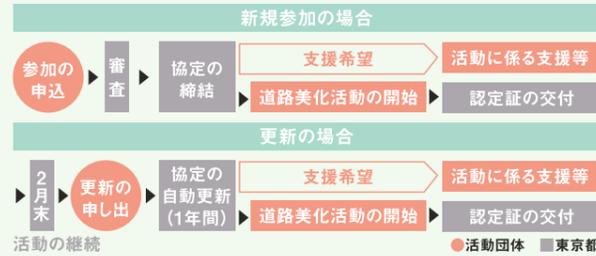
地域の住民や企業の皆様と東京都が協力して、道路の清掃や植栽の手入れなどの美化活動を行うことにより、道路利用のモラル向上と潤いのある道路空間の創出を目的とする制度です。



対象となる活動	1 清掃活動 清掃活動とは、紙くず・空き缶・吸殻・落ち葉などを拾う活動です。
	2 緑化活動 緑化活動とは、植栽の手入れ・花苗の植替え・種まき等を行う活動です。
対象となる団体	東京都内の自治会、町内会、商店会、学校、企業、NPO法人、ボランティア団体等
活動場所	都道の歩道部分(供用を開始した道路)
募集期間	随時募集しています
活動期間	年間を通じて活動することとし、特に期間は定めない。
活動に係る支援等	原則として、無償で活動していただきますが、活動の補助として、活動用具等の費用の一部支援を受けることができます。
	支援の内容 活動費の支援(1年間 最高8万円まで)* 活動区域内へのサイン(表示板)の設置 *審査の結果、有償団体として認定した団体に限ります。
認定方法	団体等から、活動を希望する区間(都道)を提示された後、活動の場所等が適切かどうか、東京都が確認した上で認定します。

- 平成22年9月末現在、123団体が活動しています。情報を公開している活動団体の一覧は、http://www.tmpc.or.jp/contents/michi/04_2.htmlから確認できます。
- 公社では、東京ふれあいロード・プログラム活動団体を対象に、「清掃用具やジャンパー等の物品支援」を行います。物品支援について、詳しくは<http://www.tmpc.or.jp/contents/michi/06.html>から。

■「東京ふれあいロード・プログラム」認定までの流れ



■「東京ふれあいロード・プログラム」についてのお問い合わせ

東京都建設局 道路管理部
路政課 管理係【電話:03-5320-5281(直通)】まで。

**登場団体
募集中!**

TR東京都道路整備保全公社では、ティーアール・マガの東京ふれあいロード・プログラムに登場していただける団体を募集しています。このページは、皆さんの日頃の活動とその思いを紹介していくページです。自薦、他薦を問いません。ご応募をお待ちしています!



原町田四丁目第2町会 熊坂恵司さん

町内会として月に2回、夜と昼に防犯パトロールをしています。土曜日の夜は大人だけが、日曜日の昼はゴミ袋とトンテを持って子どもたちと一緒に防犯パトロール、違反広告物のチェックと除去、安全確認を行っています。一番心配だったのは、毎回子どもたちが植込みなどのゴミ拾いを「ああ、大人は……」と思ってしまうことでした。そんな時に、街づくりの会から花を植えるという話を聞き、これで心配していたことが解消できると思いました。今は活動を始めた頃と比べるとゴミのポイ捨てが減ってきています。こうした活動を通して子どもたちに、自分たちの街を意識してもらい、自分たちの街をきれいにする、という街に対する愛情や親しみが芽生えてくることを願っています。

原町田四丁目第二地区街づくりの会 副代表幹事 土屋利之さん

平成16年に発足した原町田四丁目第二地区街づくりの会は「誰もが安心して歩ける道」「光と風の通る街」という2つのテーマを掲げて活動を始めました。その一環として花の小路づくりを企画し、町田街道に花植えを始めたのをきっかけに、4団体共同で東京ふれあいロード・プログラムに参加しました。花は主に宿根草を選び、その他に季節ごとのお花を植えています。夏場の水やりはとて大変ですが、活動日には、早朝の車の少ない時にバケツに30杯くらい水を用意しておきます。日常的には近隣の方々に、気がついたら水をあげてくださいとお願いしています。子ども会が活動した父母の多くが町会活動に参加し、次に錦友会(老人会)へと地域のふれあいの流れもスムーズです。

原町田四丁目第二地区街づくりの会 代表幹事 坂口朝美さん

平成20年の4月1日に、町内会・子ども会・錦友会(敬老会)・街づくりの会が母体となり、東京ふれあいロード・プログラムに参加しました。それ以来、町田街道沿いの両歩道脇で植付け作業を行い、水やり、お掃除、花がら摘みをしています。一年目は土が荒れていてスコップも数センチしか入らない状態でしたので、土改良からのスタートでした。水をやれども、花を植えても枯れてしまい、とても悲しかったです。でも、皆さんのご協力のおかげで、今はミズも喜ぶ黒土とした美味しそうなお花になってきました。この活動を通して、子どもたちが街に親しみ、誇りをもってくれる、それがまちづくりの基本だと思っています。

原町田なかよし子ども会 瀬田昌代さん

いつも子ども会から、大人と子どもを合わせて25人くらいが参加しています。この活動に参加するようになってから、別の学年の子どもたちやご両親とお話をする機会ができ、親子とも地域での輪が広がってきました。土に触れる機会が少ないので、子どもたちも楽しそうです。

原町田なかよし子ども会 後藤 文さん

原町田四丁目第2町会の皆さんは「子どもはまちで育てるもの」とおっしゃってくださり、子どもたちの登下校をいつも見守ってくださっています。東京ふれあいロード・プログラム参加のお話も、子どもたちと一緒に花を育てることが情操教育に良いと、子ども会にも声を掛けていただきました。

元八王子青少対花いっぱいロード代表 奥田和子さん

私たちが活動している高尾街道はさんぽをされる方たちがとても多いのですが、TR-mag.で私たちの活動を介していただいているから、さんぽの途中に声を掛けてくださる方たちが増え、とても嬉しいです。さくら草のこぼれ種から育てた苗をお分ける近隣の小学校も増え、そこからまた次のところへと、花いっぱいロードがどんどん広がってきています。また、小中学校のPTAの一人一役制度で緑化活動に参加して下さった方たちは、花を育て、土に触れる楽しさを実感して下さり、次の年もこの活動に参加して下さる方が多くなるなど、好循環になってきているように感じています。

みんなで育てる 東京の道 東京ふれあいロード・プログラム

参加団体訪問-21 原町田四丁目第二地区街づくりの会(町田市)

環境に対する意識は年々高まり、道路空間にもうるおいと安らぎが求められています。私ども公社では、地域住民の皆様のボランティアによる快適な道路環境づくりを目指す東京都の「東京ふれあいロード・プログラム」に協力しています。このプログラムは、道路の清掃や植栽の手入れなどの道路美化活動を、地域住民の力や地元自治体、企業団体と東京都が協力しあって進めていくプログラムです。平成22年9月末現在、この「東京ふれあいロード・プログラム」に参加して下さっている団体は123団体です。公社ではこのプログラムに参加する団体に対し、清掃グッズやジャンパー等を支援、活動費用の助成をしています。このコーナーでは「東京ふれあいロード・プログラム」の参加団体の活動を紹介しています。今号は、町田市の町田街道沿いで活動されている「原町田四丁目第二地区街づくりの会」を訪問いたしました。

今日のこみ拾いは肥料をあげる係りだよ

ペットボトルにお花用のお水を用意して参加

近隣のマンションにお住まいの方々にペットボトル1本分の協力をお願いします。

街づくりの会・子ども会・町内会・錦友会の4団体が一週間交代で「花の小路づくり」に参加しています。

TR-mag. focus Again!

このコーナーでは、東京ふれあいロード・プログラムにご登場いただいた団体のその後を紹介いたします。今回は、元八王子青少対花いっぱいロードです。

「元八王子青少対花いっぱいロード」をお訪ねしたのは、2008年の春。草花を植えるきっかけは約12年前のことです。元八王子中学校の生徒に「情緒豊かな人間に育ってほしい」と校内にさくら草を植えたこと始まりました。その後、緑化活動「花いっぱいボランティア」を発足させ、地域のボランティアの方々が毎週木曜日、草花の手入れや植付け、除草などを行うようになりました。この間、元八王子青少対花いっぱいボランティアを中心に、循環型の地道な活動を根気よく続けてこられ、新たなメンバーも加わりました。

今回お伺いしたのは、9月初旬に実施された月1回の元八王子小学校・中学校の児童や生徒、先生方、PTAの方々が加わった合同活動日。例年は、高尾街道や元八王子小学校・市の施設にまで季節の花や宿根草が1年中絶え間なく咲いているそうです。でも今年夏の暑さは、メンバーの方々が丹精込めて育ててきたお花たちにも大きな打撃を与えていました。残暑厳しいこの時期に参加されたメンバーの方々は、「今年はお花たちも可愛そうでした。でも、きれいなお花が育つための第1歩だと思いい、しっかりと草取りなどをしています」と話しておられました。

「元八王子青少対花いっぱいロード」を支える小さな力